



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

東

上場会社名 神鋼商事株式会社 上場取引所  
 コード番号 8075 URL https://www.shinsho.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高下 拡張  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 石川 武祥 (TEL) 03-5579-5201  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日 2026年6月9日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月19日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	608,142	△1.5	11,577	△12.4	11,022	△6.3	8,286	△3.2
2025年3月期	617,177	4.4	13,223	△0.5	11,763	△8.2	8,563	△6.0

(注) 包括利益 2026年3月期 10,905百万円(28.2%) 2025年3月期 8,505百万円(△47.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	313.65	—	8.7	2.9	1.9
2025年3月期	324.24	—	9.7	3.0	2.1

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 584百万円 2025年3月期 1,596百万円

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	383,623	100,982	25.8	3,745.99
2025年3月期	386,870	92,977	23.6	3,461.36

(参考) 自己資本 2026年3月期 98,977百万円 2025年3月期 91,437百万円

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	8,447	△1,579	△10,910	17,427
2025年3月期	6,989	6,688	△5,013	21,380

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	150.00	—	150.00	300.00	2,656	30.8	3.0
2026年3月期	—	53.00	—	53.00	106.00	2,816	33.8	2.9
2027年3月期(予想)	—	65.00	—	65.00	130.00		38.2	

(注) 2027年3月期(予想)の中間配当金及び期末配当金の内訳 普通配当 52円00銭、記念配当 13円00銭

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。2025年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	330,000	12.7	5,300	0.5	5,300	△8.4	4,100	0.6	155.00
通 期	686,000	12.8	12,100	4.5	11,500	4.3	9,000	8.6	340.00

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	26,581,686株	2025年3月期	26,581,686株
② 期末自己株式数	2026年3月期	159,328株	2025年3月期	165,063株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	26,420,740株	2025年3月期	26,412,346株

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託口」が保有する当社株式（2026年3月期 135,855株、2025年3月期141,642株）が含まれております。また、「役員報酬BIP信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式の計算において控除する自己株式に含めております（2026年3月期 137,487株、2025年3月期 145,917株）。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2025年4月1日～2026年3月31日)における世界経済は、インフレ抑制を目的とした各国の金融引き締め政策の継続に伴い、企業の設備投資に伸び悩みが見られるなど、総じて緩やかな減速基調で推移いたしました。また、中東地域を巡る地政学的緊張の高まりを背景とした原油価格の上昇や物流コストの増加懸念など、事業環境の先行き不透明感は継続しております。

我が国経済におきましては、雇用・所得環境の改善の動きが見られたものの、物価上昇や慢性的な人手不足の影響を受け、建設分野や産業機械分野を中心に設備投資の一部に慎重な動きが見られるなど、国内需要は総じて力強さを欠く状況で推移いたしました。また、自動車分野においては、一部日系自動車メーカーにおいて国内生産の調整局面が見られたものの、下期にかけて生産台数は持ち直しの動きを示しました。

このような環境下において、当連結会計年度では、「中期経営計画2026」の成長戦略を推進し、売上高は6,081億42百万円(前連結会計年度比1.5%減)、営業利益は115億77百万円(同12.4%減)、経常利益は110億22百万円(同6.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は82億86百万円(同3.2%減)となりました。

事業セグメント別の主な営業状況は、以下のとおりです。

#### ①金属セグメント

##### i) 鉄鋼ユニット

主力である特殊鋼・鋼板製品については、自動車生産台数が前年並みの水準で推移したものの、建築向け分野の需要減少に加え、鋼材価格の下落の影響を受け、減収となりました。また金融収支において受取配当金が増加したものの、持分法投資損益が減少したため減益となりました。

これらにより、鉄鋼ユニットの売上高は2,500億92百万円(前連結会計年度比3.0%減)となり、利益は47億38百万円(同15.4%減)となりました。

##### ii) アルミ・銅ユニット

銅製品は、端子コネクタ向け銅板条や空調銅管の取扱増により増益となった一方で、アルミ製品は、自動車向け取扱量の減少により減収減益となりました。非鉄原料は、アルミ再生塊、銅屑の取扱量減少により減益となりました。

これらにより、アルミ・銅ユニットの売上高は1,879億47百万円(前連結会計年度比0.1%減)となり、利益は28億36百万円(同8.3%減)となりました。

##### iii) 原料ユニット

(株)神戸製鋼所向け主原料については、鉄鋼需要が減ったことで粗鋼生産が低調となり、需給が緩んだ結果、主原料価格は下落しました。重点分野である資源循環ビジネスについては、国内需要の低迷に伴う輸出比率の上昇や取引環境の変化により、収益性は低下しました。バイオマス燃料は、取引先の操業トラブルの影響により、取扱量が減少しました。また海外子会社において、前年度に計上した一過性利益の剥落に加えて、海外投資先における操業不調の影響により減益となりました。

これらにより、原料ユニットの売上高は776億52百万円(前連結会計年度比3.7%減)となり、損失は61百万円(前年同期利益1億73百万円)となりました。

#### ②機械・溶接セグメント

##### i) 機械ユニット

国内では非汎用圧縮機(本体・サービス)、冷熱・ヒートポンプ等の脱炭素関連機器、PVD装置の本体納入及び(株)神戸製鋼所の製鉄所向けの納入等が増加し、売上高・利益とも堅調に推移しました。国内子会社では電気溶解炉や粉体装置の取扱いが増加、海外では中国での建機部品輸出及び米国でのLNG向け機器・鋳物ケーシング等の納入が増加しました。

これらにより、機械ユニットの売上高は637億26百万円(前連結会計年度比4.2%増)となり、利益は30億46百万円(同33.3%増)となりました。

##### ii) 溶接ユニット

溶接材料は国内の販売単価は横ばい、国外の販売単価は下がりました。取扱量は国内外ともに増加しました。溶接関連機材の取扱いは国内及びタイにて堅調に推移しました。生産材料では、ステンレス材の取扱量は

増加した一方で、溶剤原料の取扱量が若干減少しました。

これらにより、溶接ユニットの売上高は285億24百万円（前連結会計年度比2.3%減）となり、利益は6億38百万円（同9.2%減）となりました。

## （2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は3,836億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億46百万円減少しました。これは主に、現金及び預金と受取手形及び売掛金の減少によるものです。負債合計は2,826億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ112億51百万円減少しました。これは主に、短期借入金が増加したことによるものです。

純資産は1,009億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ80億5百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上とその他の有価証券評価差額金の増加によるものです。

## （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ39億53百万円減少し、174億27百万円となりました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、84億47百万円（前連結会計年度に比べ14億58百万円増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益130億68百万円によるものです。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、△15億79百万円（前連結会計年度に比べ82億67百万円減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出10億79百万円、長期貸付けによる支出11億82百万円によるものです。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、△109億10百万円（前連結会計年度に比べ58億97百万円減少）となりました。これは主に、短期借入金の純減額69億15百万円、長期借入金の返済による支出71億54百万円によるものです。

## （4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、日本経済は物価上昇や人手不足の影響により、設備投資や個人消費の持続性には引き続き注視が必要な状況にあり、また為替動向の変動が企業収益に与える影響にも留意が必要です。自動車分野においても生産動向は前年度並みの水準にあるものの、外部環境の影響を受けやすい状況が継続するものと見込まれます。このような事業環境の中、中期経営計画の最終年度となる2027年3月期の連結業績予想につきましては、売上高6,860億円、営業利益121億円、経常利益115億円、親会社株主に帰属する当期純利益90億円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいことから、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内同業他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向等を踏まえつつ、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,381	17,428
受取手形及び売掛金	189,458	183,699
電子記録債権	18,022	23,061
商品及び製品	74,841	78,765
仕掛品	140	120
原材料及び貯蔵品	1,635	1,885
前払金	21,984	16,144
その他	10,382	9,727
貸倒引当金	△306	△606
流動資産合計	337,539	330,225
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,338	8,566
減価償却累計額	△5,040	△5,494
建物及び構築物(純額)	3,297	3,072
機械装置及び運搬具	10,747	10,699
減価償却累計額	△8,494	△8,753
機械装置及び運搬具(純額)	2,253	1,946
土地	1,275	1,374
建設仮勘定	568	769
その他	3,126	3,658
減価償却累計額	△1,876	△2,142
その他(純額)	1,250	1,515
有形固定資産合計	8,646	8,678
無形固定資産		
のれん	327	235
ソフトウェア	1,211	1,751
諸施設利用権	10	10
その他	477	482
無形固定資産合計	2,025	2,480
投資その他の資産		
投資有価証券	32,574	34,959
出資金	1,863	1,947
長期貸付金	2,068	1,667
退職給付に係る資産	20	10
繰延税金資産	1,919	1,683
その他	4,629	5,363
貸倒引当金	△4,416	△3,392
投資その他の資産合計	38,659	42,240
固定資産合計	49,331	53,398
資産合計	386,870	383,623

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,239	161,344
電子記録債務	13,400	10,890
短期借入金	45,905	34,901
未払法人税等	1,864	2,667
契約負債	12,385	12,433
賞与引当金	1,582	1,637
預り金	18,432	12,398
その他	19,389	21,092
流動負債合計	272,200	257,367
固定負債		
長期借入金	15,350	18,495
預り保証金	732	650
繰延税金負債	3,978	4,478
役員株式給付引当金	88	124
退職給付に係る負債	970	942
その他	572	583
固定負債合計	21,692	25,274
負債合計	293,893	282,641
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,615	2,615
利益剰余金	69,165	74,300
自己株式	△220	△212
株主資本合計	77,210	82,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,017	8,355
繰延ヘッジ損益	67	175
為替換算調整勘定	7,141	8,093
その他の包括利益累計額合計	14,226	16,624
非支配株主持分	1,539	2,004
純資産合計	92,977	100,982
負債純資産合計	386,870	383,623

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	617,177	608,142
売上原価	576,778	568,676
売上総利益	40,398	39,465
販売費及び一般管理費	27,175	27,888
営業利益	13,223	11,577
営業外収益		
受取利息	380	298
受取配当金	1,329	1,838
持分法による投資利益	1,596	584
デリバティブ評価益	561	-
貸倒引当金戻入額	2	38
雑収入	827	524
営業外収益合計	4,699	3,284
営業外費用		
支払利息	1,891	1,594
売掛債権譲渡損	671	795
為替差損	1,763	232
デリバティブ評価損	-	667
貸倒引当金繰入額	1,477	108
雑損失	355	440
営業外費用合計	6,158	3,839
経常利益	11,763	11,022
特別利益		
投資有価証券売却益	2,839	2,092
負ののれん発生益	180	101
特別利益合計	3,019	2,194
特別損失		
減損損失	592	107
投資有価証券売却損	1,132	21
投資有価証券評価損	264	19
特別損失合計	1,988	148
税金等調整前当期純利益	12,794	13,068
法人税、住民税及び事業税	3,949	4,469
法人税等調整額	397	256
法人税等合計	4,347	4,726
当期純利益	8,446	8,341
非支配株主に帰属する当期純利益 又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△117	54
親会社株主に帰属する当期純利益	8,563	8,286

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	8,446	8,341
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,716	1,266
繰延ヘッジ損益	△65	108
為替換算調整勘定	2,375	968
持分法適用会社に対する持分相当額	464	221
その他の包括利益合計	59	2,564
包括利益	8,505	10,905
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	8,444	10,684
非支配株主に係る包括利益	60	221

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,650	2,615	63,612	△241	71,636
当期変動額					
連結除外による剰余金の減少					-
剰余金の配当			△3,010		△3,010
親会社株主に帰属する当期純利益			8,563		8,563
自己株式の取得					-
自己株式の処分				20	20
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	5,552	20	5,573
当期末残高	5,650	2,615	69,165	△220	77,210

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	9,702	132	4,510	14,345	1,497	87,480
当期変動額						
連結除外による剰余金の減少						-
剰余金の配当						△3,010
親会社株主に帰属する当期純利益						8,563
自己株式の取得						-
自己株式の処分						20
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,684	△65	2,630	△118	41	△77
当期変動額合計	△2,684	△65	2,630	△118	41	5,496
当期末残高	7,017	67	7,141	14,226	1,539	92,977

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,650	2,615	69,165	△220	77,210
当期変動額					
連結除外による剰余金の減少			△415		△415
剰余金の配当			△2,736		△2,736
親会社株主に帰属する当期純利益			8,286		8,286
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				8	8
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	5,134	7	5,142
当期末残高	5,650	2,615	74,300	△212	82,353

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	7,017	67	7,141	14,226	1,539	92,977
当期変動額						
連結除外による剰余金の減少						△415
剰余金の配当						△2,736
親会社株主に帰属する当期純利益						8,286
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						8
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,337	108	952	2,397	464	2,862
当期変動額合計	1,337	108	952	2,397	464	8,005
当期末残高	8,355	175	8,093	16,624	2,004	100,982

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	12,794	13,068
減価償却費	1,638	1,487
のれん償却額	91	91
各種引当金の増減額 (△は減少)	1,560	△663
受取利息及び受取配当金	△1,709	△2,136
支払利息	1,891	1,594
持分法による投資損益 (△は益)	△1,596	△584
負ののれん発生益	△180	△101
減損損失	592	107
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,707	△2,069
投資有価証券評価損益 (△は益)	264	19
売上債権の増減額 (△は増加)	10,388	1,652
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,167	△2,664
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12,916	△1,530
未収入金の増減額 (△は増加)	1,475	△140
未払費用の増減額 (△は減少)	△3,934	△1,510
その他営業活動によるキャッシュ・フロー	△745	5,311
小計	11,074	11,930
利息及び配当金の受取額	1,823	2,240
利息の支払額	△1,889	△1,602
法人税等の支払額	△4,017	△4,121
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,989	8,447
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△731	△1,079
有形固定資産の売却による収入	42	203
無形固定資産の取得による支出	△579	△1,016
投資有価証券等の取得による支出	△13	△169
投資有価証券等の売却による収入	8,281	2,390
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△869
短期貸付けによる支出	△749	△550
短期貸付金の回収による収入	652	788
長期貸付けによる支出	△172	△1,182
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他投資活動によるキャッシュ・フロー	△42	△95
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,688	△1,579

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△792	△6,915
長期借入れによる収入	1,900	5,900
長期借入金の返済による支出	△3,040	△7,154
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△49	△12
配当金の支払額	△3,010	△2,736
非支配株主への配当金の支払額	△71	-
非支配株主からの払込みによる収入	30	-
その他財務活動によるキャッシュ・フロー	20	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,013	△10,910
現金及び現金同等物に係る換算差額	406	88
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,071	△3,953
現金及び現金同等物の期首残高	12,308	21,380
現金及び現金同等物の期末残高	21,380	17,427

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

### 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に商品別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う商品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業本部を基礎とした商品別セグメントから構成されており、「金属」と「機械・溶接」の2セグメント、「鉄鋼」「アルミ・銅」「原料」「機械」「溶接」の5ユニットを報告セグメントとしております。

「鉄鋼」は、特殊鋼、薄板、厚板を中心に、鍛鍛鋼、チタン、鉄粉などを国内及び海外へ販売しております。

「アルミ・銅」は、主に自動車、空調向けのアルミ・銅製品を国内及び海外へ販売しております。「原料」は、主に(株)神戸製鋼所へ石炭、鉄鉱石、合金鉄などを国内及び海外から調達し、販売しております。「機械」は、主に産業機械、化学機械などを国内及び海外へ販売しております。「溶接」は、主に溶接材料、溶接機などを国内及び海外へ販売しております。

### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

I 前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注)	調整額	合計
	金属				機械・溶接			計			
	鉄鋼	アルミ・銅	原料	小計	機械	溶接	小計				
売上高											
外部顧客への売上高	257,791	188,126	80,676	526,594	61,131	29,195	90,326	616,921	255	—	617,177
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	351	△351	—
計	257,791	188,126	80,676	526,594	61,131	29,195	90,326	616,921	607	△351	617,177
セグメント利益又は 損失(△)	5,602	3,094	173	8,871	2,285	703	2,989	11,860	△97	—	11,763
セグメント資産	160,148	106,772	41,228	308,148	40,460	17,739	58,199	366,347	75	20,446	386,870
その他の項目											
減価償却費	656	468	307	1,432	141	64	205	1,637	0	—	1,638
受取利息	58	214	9	282	81	16	97	380	0	—	380
支払利息	1,037	335	303	1,675	126	85	212	1,888	3	—	1,891
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	337	265	391	994	260	56	316	1,310	0	—	1,311

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

II 当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注)	調整額	合計
	金属				機械・溶接			計			
	鉄鋼	アルミ・銅	原料	小計	機械	溶接	小計				
売上高											
外部顧客への売上高	250,092	187,946	77,652	515,691	63,726	28,524	92,250	607,942	199	—	608,142
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	—	—	—	0	347	△347	—
計	250,092	187,947	77,652	515,692	63,726	28,524	92,250	607,942	546	△347	608,142
セグメント利益又は 損失(△)	4,738	2,836	△61	7,513	3,046	638	3,685	11,198	△176	—	11,022
セグメント資産	158,287	111,648	37,290	307,225	39,708	20,610	60,319	367,545	△61	16,140	383,623
その他の項目											
減価償却費	605	362	302	1,270	150	66	216	1,486	0	—	1,487
受取利息	40	178	2	220	66	11	77	298	0	—	298
支払利息	873	308	245	1,427	111	52	163	1,591	3	—	1,594
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	751	497	364	1,612	365	117	482	2,095	0	—	2,095

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	616,921	607,942
「その他」の区分の売上高(注)	607	546
セグメント間取引消去	△351	△347
連結財務諸表の売上高	617,177	608,142

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	11,860	11,198
「その他」の区分の損失(△)(注)	△97	△176
連結財務諸表の経常利益	11,763	11,022

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	366,347	367,545
「その他」の区分の資産(注1)	75	△61
全社資産(注2)	20,846	16,485
セグメント間取引消去等	△399	△344
連結財務諸表の資産合計	386,870	383,623

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社の余資運用資産(現預金)、長期投資資金(投資有価証券)であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他(注)		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	1,637	1,486	0	0	1,638	1,487
受取利息	380	298	0	0	380	298
支払利息	1,888	1,591	3	3	1,891	1,594
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,310	2,095	0	0	1,311	2,095

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	3,461円36銭	3,745円99銭
1株当たり当期純利益	324円24銭	313円65銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(当連結会計年度137千株)
3. 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
4. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	8,563	8,286
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	8,563	8,286
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,412	26,420

(重要な後発事象)

該当事項はありません。